



2015年2月20日

報道機関関係者の皆さまへ

**第3回国連防災会議パブリック・フォーラム
尚綱（しょうけい）学院ブース
「震災から・放射線から子どもを守る」出展のご案内**

国連防災世界会議の開催意義である災害に強い国やコミュニティづくりに寄与するため、広く防災に関する関心を高めることを目的に、パブリック・フォーラムが多数開催されます。

尚綱学院は、大震災のもとで園児や生徒、そして学生の安全と健康を守るために出来る限りの活動をしてきました。その中で、地域に、特に放射能汚染が深刻だった福島の子どものために大学の専門性をどう生かすかが試されてきました。

私たちのこの4年間の歩みを通して、過酷な自然災害への対策と減災、続発した放射能汚染への手だてや、2度と繰り返さないための方策を全国に、全世界に発信します

報道機関の皆さまにおかれましても、是非、取材くださいまして、全国、全世界に発信くださいますようお願い申し上げます。

記

日時：2015年3月15日（日）10：00～16：00（集中討論13：00～14：00）

会場：TKP ガーデンシティ仙台勾当台

（宮城県仙台市青葉区国分町3-6-1 仙台パークビル3階・ホール3）

内容：「震災から・放射線から子どもを守る」

当日の詳細プログラムは、裏面をご覧ください。

< 学校法人尚綱学院ホームページ >

<http://ap.shokei.jp/>

< 国連防災国際会議パブリック・フォーラムホームページ >

http://www.bosai-sendai.jp/public_outline.html

< 取材に関するお問合せ先 >

学校法人尚綱学院

法人事務局企画調整課（吉谷）

TEL：022-381-3332 FAX：022-381-3335

E-mail：kikaku@shokei.ac.jp

発表プログラム

Project 1. 幼稚園・保育園児を放射能汚染から守る

Kindergartens and preschoolers are defended against radioactivity pollution.

1. 尚絅学院大学附属幼稚園の除染と保育・保護者連携
2. 福島の子育て再生への道のり

Project 2. 大震災・放射線災害と立ち向かう大学の役割

Earthquake disaster, radiation accident and the role of the university confronting.

1. キャンパスの汚染状況測定と大規模除染
2. 専門性を生かした地域測定や住民への助言
3. カリキュラムへの災害教育・放射線教育の拡充

Project 3. 大震災・放射線災害の教訓と減災対策

Lesson from the earthquake disaster and a radiation accident and the measure which reduces damage.

1. 緊急対応
2. 放射線対策
3. 私たちの経験と教訓を世界へ